

# マルセ太郎のエッセイ

## 街頭易者

まるつきり仕事がなく、芸人商売に見切りをつけようかと迷った頃、それほど本気ではなかったが、街頭易者になってみようかと考えたことがある。いけそうな自信があった。要は、話術ではないかと思っただけからだ。

よく、当たるも八卦、当たらぬも八卦といわれるが、大体当たるものである。何故かというとお金を払って易を見てもらおうとする客は、すでにその行為のうち、当てられたがっているからである。たとえば、「あなたは、親との縁が薄いですね。」と言われて、そんなことはない、親との情は密であると思っただけ、そう言われれば、お互いに離れて住んでいるから、そのことを縁が薄いと云っているのだらうと、進んで解釈し、「当たっています」と答えてしまふ。いい人なのである。

恥をかかせたくないという心理が働くものだ。だから、眠くなる、眠くなると催眠をかけられると、

案外簡単に眠ってしまう。自ら進んで協力していることになる。はじめっから悪意を持つて、「馬鹿野郎、こんなものにかかってたまるか」と構えたら、絶対にかかるものではない。「おれは催眠術なんかにかからない」と自慢する人は、単に性格の悪さを示しているだけだ。

それと同じで、易を見てもらうとする客は、その段階で、易者に組みこまれていくことになる。ひやかしの客でない限り、「何だ、ちっとも当たってねえじゃないか」と、易者に恥をかかせることはない。ましてや、客のほとんどは、悩み多き若い女たちだから尚のことである。彼女たちは、話をきいてもらいたいのであつて、それを上手に引き出す話術があれば、何だつて当たったことになる。

あの女の列に加わる勇気がなかった。

彼女が誰を思つてか、しんみり言う。どうせ相場は決まつている。女房持ちか、ヤクザっ気のあるブレイボーイか、そんなものだろう。でも、「つまらん男に惚れてるなんて言い方はしてはいけない。それでは当たらない。「惚れちゃいけない人」と言つてあげると、「当たった」と返ってくるのだ。二つ目は、どんなにケチで貪欲な女にでも、

「君は、人にものを頼まれたら、イヤとはいえない性分だね」と言つてあげる。間違ひなく百パーセント、  
「新宿の母」が特によく当たるから、このドケチが。以上二つを切り出せば、あとは思いのまま、君は易者になれる。  
僕が芸人をやめて街頭易者に転じていたら、いま頃、「新宿の父」になつていたかもしれない。  
(1992年「室内」)

## 場外乱闘!

### 梨花 バクシーシ放浪記

(マルセ太郎監修)

3年近く、世界をまたにかけて放浪してきた金梨花のトークライブがスタジオBeフリーを中心に始まりました。  
元気いっぱいステージは、好評をばくしております。  
いつの日か、あなたの近くでライブが見れるでしょう。  
10月5日には  
「永六輔「その世界」」出演定!

10月26日・27日

梨花バクシーシ放浪記VOL.3

スタジオBeフリーにて

お問い合わせ 03-3430-7328



## 広告募集

どんな広告でも構いません。  
大きさは、一枠 縦5センチ×横六センチ  
料金は、未定  
ワリカン新聞なのでその内、妥当な金額が決まってくると思えます。  
ライブそのものを広告して下さいませよ。



『美しき川は流れたり  
そのほとりに我は住みぬ...』  
と室生犀生が詠った犀川べりに建つさら館。全室冷暖房、バス、トイレ付き。

### 編集後記

5~6年前からこのマルセ太郎だけの新聞という情報誌みたいなものを作った。そんな予感があったのだが、マルセ太郎自身が、芸人魂以来、新聞、雑誌に書き始めた。誰かがやるかなと思つておうちに、今度は「劇作家」マルセ太郎が登場する。そして、病気が、やらなければと思った。40の手習いでパソコンをやりましたのもこんな理由だ。東京の情報よりも地方でのマルセ太郎をめぐる情報の方が面白くなる。旅のマルセさんは実に、いきいきしている。だから、情報の中心は地方におく、「マルセ太郎もいる」ところよりも、「マルセ太郎しかいない」ところの方が面白いに決まっている。内容は何でも構わない。マルセレポートでもエッセイでも、ライブの感想でもイイ。マルセ語録も集めたい。この世紀末に文化と呼べるものがあるとすれば、それは、マルセ太郎とめぐる人々ではないかという思いこみを新たにしているところである。  
下書きを見せにマルセ家を訪ねると富山の市会議員(全国で最も議員らしからぬ議員)赤星ゆかり嬢がいた。屈託のない笑いは、この新聞の創刊にふさわしい、出会いのような気がした。  
(立木真児)

5月8日(木)

名古屋(会場未定)

5月9日・10日

大阪近鉄劇場小ホール

5月11日(日)

広島(会場未定)

無名人

〜マルセ太郎〜

有名人語録

ぼくは、仮にホームレスになっても魅力的なホームレスになる自信がある。

ぼくの前を、人はす通りすることは、出来ない。

ぼくは、マストロヤンニが好きだ。

マストロヤンニの人柄ではなく、する役が好きなのだ。

あんな風に、いいかげんに女にもてたい!

(芸人魂第二弾にふれて) 今回は、ふつつです。

だって、前作は最高だもん。

このところ、病気と闘って芸に生きる、闘病と言つ取材・報道がやたら多い。

マスコミ関係の皆さん! 僕は、闘ってはいません。

(全国の皆さん二次会に出しましょう。メモをして編集部へ送って下さい。)

### 病棟日誌

ここは、ファンの交流の広場です。どしどし投稿をお願いいたします。

手記

私はこうしてマルセ太郎中毒者になった

酒肆 真酒亭 亭主、  
みいあらく座 世話人  
フリースペースM&N主宰  
村田千晴

私は越中富山の居酒屋さん。3年前の春、店のなじみ客が、カウンターで「マルセ太郎が『泥の河』をひとりでやっちゃうんだよ」と言ったのが始まりだった。昔、テレビの「花王名人劇場」で見た形態模写のすごさを、すぐに思い出した。猿以上に猿らしい芸が私の頭に刷り込まれていた。映画を再現するというその芸を、ぜひ見たいと思った。

金沢では何度か公演しており、その世話をしていたのは、知人の村井幸子さんだった。渡りに舟。早速連絡。そして決定。あとは観客の確保。10人が10人ずつ集めれば110人になる。あと40人くらいは口コミで来るだろう。名づけて「友達の友達は友達作戦」。反応は思った以上で、協力者は20人あまり。新聞やラジオの効果もあつた。いよいよ93年4・19。150の椅子席はすぐ

につまり、前のゴザ席も満員。立ち見もギッシリで250人を超えた。

映画の内容をよく理解した語り、的確な演技。まるで田村高廣がそこにいて話しているようだ。観客の全てが舞台のマルセに集中していた。そして、ラストシーンの暗転直後、観客一斉の大拍手。観客全員の感動の表現だった。

このとき、私は重いマルセ太郎中毒患者となつてしまつていたのです。この公演をきっかけに「みいあらく座」というボランティアのプロモート組織を作り、94年1・30「息子」を、94年7・11「殺陣師段平物語」95年5・23「ライムライト」95年秋には高岡と魚津で「泥の河」、96年3・23「生きる」その翌日には自ら開いてしまつた高岡のフリースペースM&Nで「トークスペシャル」を次々と開催。この間、渋谷ジャンジャンでの芝居は、富山からツアーを組んですべて観に行くなど、マルセ太郎中毒の症状は深まるばかり。ついには、来年4・13(日)「花咲く家の物語」富山公演を決めてしまうに至つては、家族、友人からも不治の病と認定されることとなつてしまつた。

認定されたからには、大っぴらに感染患者を増やし、97年4・13(日)をマルセ太郎中毒患者で満員にすることを心に誓つておりました。 おわり

### テレビ欄

テレビ(テレビに出るのが、そんなに偉いんか)欄

なに偉いんか)欄

NHKBS1日曜スペシャル  
「生き様を演じる」

〜マルセ太郎の芸人魂〜

さる、6月23日(日)NHK衛生放送第一で放送されました。

再放送 6月30日(日)NHK衛生放送第一 あさ

(寸評)タイトルは日本語として最悪ですが、生まれた、長屋のシーンは泣けました。

8月31日に収録

NHK衛生第二放送

マルセ太郎の独演と立川談志とのトーク

放映は、新聞を注意してみてください。

書籍欄

「芸人魂」第2弾

近日中に世に出ます。

本人の弁:

「今回は普通です。」

だって、前作は最高だもん!

だって。

オリジナル・グッズ

マルセ太郎の小さな写真集

「泥の河」の名場面をせりふと共に

八枚組の葉書サイズの写真集にしました。

ライブ主催者の皆さん、お知らせ

に使えます。格安にて印刷します。

三〇〇枚印刷費〇三〇〇円一五〇〇〇

八枚組一セット五〇〇〇(送料別)

編集部まで

近日発売!

僕はときどき、自分の本を手に入れます。その時、つくづく思います。なんて面白いんだろう。

色川武大さん、マルセが本を書きました。あなたが愛した芸人が、可笑しくて哀しい人々を鮮やかに書きました。彼の演技力は、この観察力、洞察力が支えていたのです。この本を開けば、そこに小劇場、そして開幕です。

永 六輔

芸人マルセ太郎の珠玉の名著! 面白くてためになり、可笑しくて哀しい!

# げいにんだましい 芸人魂

講談社 定価千八百円

お近くの書店で、ご注文下さい。

マルセ太郎の  
ライブ情報

| 生きる                                 | 泥の河                         | 息子                                  | 息子                                  | 中村秀十郎物語                            |
|-------------------------------------|-----------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|
| 8月11日(日)<br>15:00~<br>長野<br>松代文化ホール | 7月26日(金)<br>19:00~<br>¥2500 | 7月24日(水)<br>19:00~<br>青森県<br>八戸市公民館 | 7月7日(日)<br>14:00~<br>群馬県<br>東村中央公民館 | 7月4日(木)<br>19:00~<br>¥2800(前¥2500) |
| 松代夏祭り<br>実行委員会<br>026-293-4255      | 渋谷ジャンジャン<br>03-3462-0641    | 八戸新音<br>0178-43-4093                | 保育所つめくさ<br>0270-63-1465             | 門仲天井ホール<br>03-3641-8275            |

「枝雀寄席」  
ゲストマルセ太郎

8月4日(日)  
大阪朝日放送  
ABCホール

入場整理券  
(朝日放送)

番外ゲスト

話芸バラエティー

8月24日(土)  
25日(日)  
山梨白州  
アートキャンプ  
03-5340-3860  
(東京)  
0551-35-2465  
(山梨)

生きる

8月23日(金)  
14:00~奈良市  
あやめ池桃山荘

堺市教職員組合  
0722-21-1717

泥の河

8月17日(日)  
岡山県旭町  
民話の村

なぜかななめ  
086-278-5715

詳細は各主催者に直接お問い合わせ下さい。  
協力 人力舎  
03-5378-0211

演劇情報

マルセ太郎作・演出  
劇作家マルセ太郎  
の芝居情報

「真夏の夜の哀しみ」

マルセ喜劇第4弾  
或る夏の日、「テレビ」に出るのが、  
そんなに偉いんか」とひと言残して  
老芸人が逝った。  
その通夜に集まってきた様々な芸人  
たち

「まだ生きとったんか」  
「何でこのくそ暑いときに」  
芸人達のとりとめのない会話はやが  
て・・・  
「生きているときに言わんかい」  
マルセ喜劇待望の第4弾。乞うご  
期待!

出 演：齋藤昌子 松岡文雄  
矢野陽子 葛飾刻齋  
今野 誠 永井寛孝  
松山 薫 藤原常吉  
維田修二 千葉真弓

期 日 ……1996年9月  
12日(木)~16日(月)

会 場 ……渋谷ジャンジャン  
スタツフ

舞台監督 塩見なぎさ  
照明 日高勝彦  
音 効 是安房雄  
宣伝美術 花本 彰

|     | 昼   | 夜   |
|-----|-----|-----|
| 12日 |     | 19時 |
| 13日 |     | 19時 |
| 14日 | 15時 | 19時 |
| 15日 | 15時 | 19時 |
| 16日 | 15時 | 19時 |

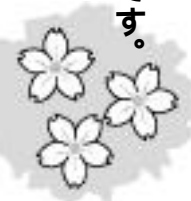
お問い合わせ  
渋谷ジャンジャン  
03-3462-0641  
制作 マルセカンパニー

「花咲く家の物語」

マルセ太郎著「芸人魂」287頁  
を読んで下さい。

「若人の家」が、お芝居になります。  
まわりの準備は着々と進んで  
おります。マルセ太郎さんも2  
度、金沢に取材に行きました。公  
演会場も決まりました。配役も、  
決まりつつあります。

あとは、台本だけです。



公演会場  
4月12日(土) 金沢市文化ホール  
4月13日(日) 富山県教育文化会館  
4月14日(月) 福井県民会館  
4月23~27日 東京芸術劇場小ホール

純米酒専科

**真酒亭**

村田 千晴

930 富山市秘町2丁目6-20

(0764)41-0399

17:00~22:00(日・祝休み)

マルセ太郎中毒患者は  
富山へ来たら、真酒亭で  
アルコール消毒を受けること!  
合い言葉「さるさる」と言えば  
大サービス!

陶器の表札

NHK・BS放送、ドキュメンタリーで放映されたマルセ太郎宅の表札と同じ焼き物の(陶器)表札をお作りいたします。

お祝い事、記念の品として大変好評です。

本場の瀬戸市で職人がひとつ、ひとつ丁寧にお作りいたします。

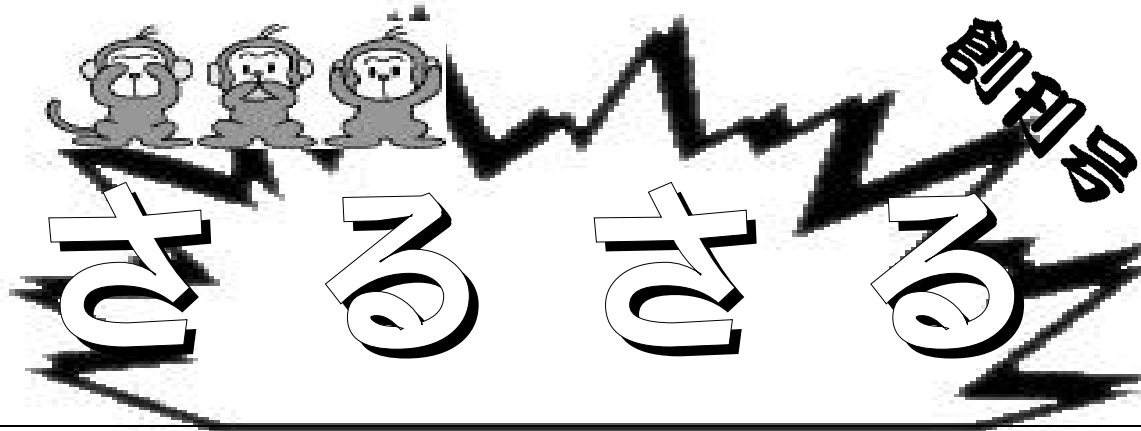
あなたのお宅もマルセ太郎さんと同じ表札をかけて見ませんか。

尚、手作りのため数週間かかります。

ご注文は、大きさと名前を書いてFAXでお願いいたします。

**ご注文：康々亭 FAX 0561-84-9696**

料金、その他お問い合わせは 0561-84-6644



全国マルセ太郎中毒患者会  
機関誌「さるさる」  
発行：スタジオBeフリー  
編集責任者：立木寅児  
〒201東京都狹江市岩戸北1-7-9  
協力：(株)プロダクション 人力舎  
定価：¥100  
年間購読料  
部数 × [¥100+送料 ( ¥100 )]

## 発刊の辞

全国のマルセ太郎中毒患者の皆さん！お待たせいたしました。  
マルセ太郎の情報誌「さるさる」の発刊を高らかに宣言いたします。  
合わせて、マルセ太郎中毒病にかかった全国のファンの交流をめざ  
して益々、この病が広まるように長く、元気につきあってゆきま  
しょう。

### 編集方針

マルセ太郎の情報しかでていない偏った報道に心がけます。  
粘り強く定期的には発行いたしません。

面白いと思ったら、どんどんまねをいたします。つまり、パクリ。

### 営業方針

不幸の手紙方式、ネズミ講方式、マルチ商法、靈感商法とありとあ  
らゆる方法。よって、転載、コピーはどしどしやって下さい。

### 注意書き

内容に関して人にしゃべるのは自由ですが、責任は負いません。

### 投稿歓迎

パソコン通信できる人はE-Mailでお願いいたします。

Nifty : HQJ00140

ワープロできる方は、FAXでおねがいいたします。

03-3430-7531

広告募集 ( 5cm × 6cm ) 4 ページ参照

これは、マルセ太郎の情報誌で  
あります。同時に、全国に蔓延す  
るマルセ太郎中毒患者の全国交流  
誌でもあります。そして、格調高  
い文化雑誌も目指します。発刊の  
辞にもありますようにこの偏った  
紙面が、どれほどのものかは解り



ません。ただ、マルセ太郎のことし  
か載せないこの紙面はちっとも皆さ  
んの生活に役に立つものではないこと  
は分り切っているのですが、万が一  
皆さんから、お便り、情報、投稿、  
盗作などが届きますと、次号を発行

しなっければならなくなりマス。ま  
してや、続けていくために、「このお  
金を使ってくれ」などと現金書留な  
どが届く、そのような恐ろしい状態  
になることを案じつつ、編集部員を  
代表いたしましたのご挨拶に換えさ  
せていただきます。

### 挨拶の続き

奇特で物好きな方のためにー  
編集部員は皆親切なので書けかけと  
申しますので、入手方法とお金の送  
り先をお知らせいたします。

間違っても、駅のキヨスク  
で探さないで下さい。エス  
ニック系の雑誌に似たよう  
な物がありますし、ひよつ  
とするとレディスコミック  
にも似たものがあつて開い  
て赤面するような事がない  
ようにお気を付け下さい。  
いちばん確実な入手方法  
は、マルセ太郎のライブを  
主催なさることでありませ  
し、この紙面のどこかに  
のっているマルセ太郎のラ  
イブに出かけてくることで  
あります。  
以上、どこかでこの紙面  
を手にするこの幸運をお  
祈りしまして、ご挨拶にか  
えさせていただきます。

トークン  
スタジオ Beフリー